



講習会の予定

今年も関係機関様から助成をいただき講習会を開催いたします

●9月9日(土) 13:00~15:30 (13:00~受付)

「交通事故と高次脳機能障害」

聴講方法：会場聴講聴講（群馬県社会福祉総合センター8階、150名まで）またはオンデマンド聴講

講師：古田兼弘先生（交通事故弁護士全国ネットワーク代表弁護士）、宮永和夫先生

お申込み詳細：ノーサイドのホームページをご覧ください

（群馬県社会福祉協議会社会福祉振興基金助成を受けて実施します）

●11月12日(日) 午前の部（当事者・家族向け）10:00~12:30 (9:30~受付)

第14回 ぐんま高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

「高次脳機能障害との付き合い方

～正しい理解・病識・受容～交通事故と高次脳機能障害」

聴講方法：午前の部は会場聴講のみ（群馬県社会福祉総合センター8階、150名まで）

講師：宮永和夫先生、長沼亨先生（南魚沼市立ゆきぐに大和病院 公認心理師（臨床心理士））

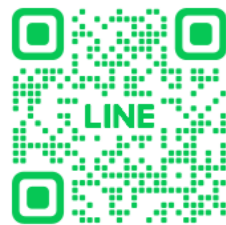
お申込み詳細：ただいま準備中です（今後ノーサイドのホームページに掲載します）

（一般社団法人日本損害保険協会助成を受けて実施します）

講習会に関するお問い合わせ・確認等は NPO法人 ノーサイドの携帯まで ➡ **080-3419-6233**

※総合福祉会館の総合受付や事務室へのお問い合わせはお控え下さい。

会員専用 フォトボイス 公式LINE



「活動の様子」でご紹介した『フォトボイス』は、公式LINEにおいて、テーマに沿った写真とメッセージを寄せていただき、基本的に石代さんが返信する仕組みです。石代さんからは、会員さんへの返信や、寄せていただく写真のテーマについて送信しています。

ふだん定例会に参加が難しい会員さんでもアクセス可能ですので、ご興味ある会員さんは、こちらのQRコードから登録なさってみてください。新規登録する際は、「ご自身の名前」をメッセージ送信してください。

NPO法人ノーサイドの活動を応援してください

ノーサイドは賛助会員を常時募集しております。賛助会費：年額¥2,000(会報にお名前を記載いたします)

下記口座にお振り込みいただく場合は、

1. 御芳名・御住所・お電話番号

2. 会報へのお名前の記載が不可の場合はその旨を電話またはe-mailにてお知らせください。

【*ゆうちょ銀行記号10400番号22364821 *群馬銀行前橋支店 番号1724052 *名義 NPO法人ノーサイド】

電話番号：080-3419-6233

メール：npo.noside@gmail.com



発行：NPO法人 ノーサイド
(代表：下田文枝)

連絡先：
群馬県前橋市下小出町1-22-3
080-3419-6233 (受付時間10:00~15:00)
令和5年7月発行

私たちは、交通事故・病気などにより脳に障害を受け、高次脳機能障害をおった当事者・家族・支援者による集まりです。私たちは当事者・家族のために普及啓発、交流会の開催、医療機関への働きかけなどの活動を行います。

活動の様子 ~フォトボイスの取組み~

前橋市社会福祉協議会さまのご厚意により、2023年4月から毎月の活動場所が、前橋市総合福祉会館（日吉町）1F「おもちゃの図書館ルーム」に変更となりました。広い建物の一角をお借りして、気分一新、活動内容にも明るい変化が生まれています。

新しい変化の一つ、、、スプラウト倶楽部の取組みで、『フォトボイス』として「写真の提供と話し合い」の時間を設けています。

もともと「高次脳支援体制拡充のために、ノーサイドから何か発信できないだろうか？」と思案していたところ、群馬パース大学石代先生から『フォトボイス』を提案いただいたことが、この取組みのきっかけです。

4月以降、毎月石代先生の進行のもと、同大学の学生さんたちも足を運んでくださり、たくさんの人がかかわってくださる明るい活動の場になっていると感じます。

これから当事者グループ、家族グループ、もしかしたら支援者グループでも、フォトボイスの話し合いを進めるかと思えます。皆さんの声や思いをお聞かせください。

（会報裏面の「会員専用フォトボイス公式LINE」もご参照ください）

フォトボイスとは、Photo(写真)とVoice(声)を組み合わせた参加型の問題発見、解決に向けた提案を考える方法です。地域社会の問題に直面する人々自身が、写真撮影や話し合いを通して、問題の本質を考え、それに見合った解決法を模索し提案したり、実際に変革に向け働きかけていくので、「参加型」の調査方法、住民「参加型」の社会変革の方法と言われます。（特定非営利活動法人 フォトボイス・プロジェクトさま ホームページより）



~石代さん あいさつ~

この度、ご縁がありノーサイドにご参加させていただくようになりました。石代 敏拓（いしだいとしひろ）です。まだ数回の参加ですが、気さくにお声掛けくださる方ばかりで毎月の定例会を待ち遠しく過ごしています。まだお目にかかれていない方もどうぞよろしくお願いいたします。

石代敏拓先生（群馬パース大学 リハビリテーション学部 作業療学科 助教）

ホームページ / ブログ / Twitter

感染予防の影響で集まりを自粛することもあります。活動状況はノーサイドのHP、ブログ、Twitterでご確認をお願いします。

HP→<https://www.npo-noside.com/>

ブログ→<http://npo-noside.jugem.jp/>

Twitter→https://twitter.com/gunma_nponoside



見学してきました

●4/28 TrayR (トレイル) パーソナルリハビリスペース・足利市

VR (バーチャル・リアリティー) を用いたリハビリ??
はじめはどんなリハビリか想像できないまま、栃木県足利市にオープンしたリハビリ施設に見学のお邪魔をいたしました。
リハビリの様子を見ていると、ヘッドセットを装着し、両手にコントローラーを持って画面に出てくる目標物にヒットさせる。次第に目標物までの距離が遠くなるので、コントローラーを持つ腕をググッと伸ばす必要がでてきます。



まるでゲームのようでしたが、30分の間にどんどん腕がのびるようになり、リハビリを受ける方はかなりの集中力で取り組み、体力も使うそうです。今回は「とちぎ高次脳機能障害友の会」の方のリハビリを見学させていただきましたが、毎回VRリハの後に、別室で天井歩行型リフトで歩行リハビリも行い、「毎回汗だくになって疲れる」とのことでした。

このVRリハビリはまだ保険適用ではなく、「〇分で〇円」という料金設定ですが、ご興味ある方は、TrayR パーソナルリハビリスペース・足利市のホームページをご参照ください。

所在地：栃木県足利市八幡町511-1 (☎ 0284-64-8164)



●5/10 群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション部 伊部洋子先生と面談

群馬大学医学部附属病院では、高次脳機能障害についてどんな取り組みをしているのかな? ノーサイドのことも知ってほしいな。そんな気持ちで、同病院 リハビリテーション部にアポイントのお伺いをしたところ、伊部先生が快く面談に応じてくださいました。

伊部先生は脳神経外科で専門医として学ばれたあと、現在はリハビリテーション科専門医として診療に取り組まれています。また、研究の分野では「ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会」において、脳卒中後の自動車運転再開の研究や支援に取り組まれているそうです。

伊部先生とのお話から、脳卒中や脳挫傷後の患者の社会復帰がスムーズに進むよう取り組んでくださっていると感じました。皆が横並びの症状ではない高次脳機能障害だからこそ、当事者、家族、環境に応じて必要な支援が届き、また障がいをもつ人も無理なく安全に暮らせる地域社会の実現に向けて、伊部先生たちの取り組みが拡充されたいと思います。



Twitter はじめました



「NPOノーサイド @gunma_nponoside」のアカウントでTwitterをはじめました。活動の様子や行事のご案内を掲載しています。

基本的にメッセージへの返信は行ないませんが、Twitterをご利用の方にはフォローしていただき、日ごろのノーサイドの活動の様子をご覧いただければうれしいです。



活動報告

●5/14 総会

令和5年度NPO法人ノーサイドの定期総会が、5月14日群馬県庁昭和庁舎35会議室にて開催されました。
出席者47名、加えて34名の方から委任状が提出され、審議事項案すべて可決決定されました。



今年度の事業も無事にスタートいたしましたことを、ご報告させていただきます。(下田)

●6/21 要望書提出

今年6月、群馬県知事宛に要望書を提出し、その内容について健康福祉部の皆さまと面談し、説明を受けました。(出席者：顧問 宮永先生、下田、武井、加藤、岡村)

群馬県からは口頭での説明で、今後の具体的な計画は話されませんでした。昨今はようやく群馬県健康福祉部 障害政策課 精神保健室 精神保健・発達支援係のホームページに高次脳機能障害に関する情報を逐一更新したり、関係機関に研修を案内して下さるなどの機会が増えて有難く思います。とはいえ群馬県の高次脳機能障害支援体制は、隣接県から大きく出遅れていますので、今後ますます人員確保や支援体制の強化に邁進していただきたいと思います。

《提出した要望書の概要》

県内の支援拠点機関の機能を向上させてほしい。/ 当会との支援連携の体制を設けていただきたい。(当事者や家族の意見を真摯にきいてもらえる場を設けていただきたい。) / 高次脳機能障害者について、行政として実態調査を実施していただきたい。/ 本当に苦しい時期に手厚い支援を受けることが出来るような施策を推進していただきたい。/ 医療福祉専門職における高次脳機能障害への対応能力向上を図っていただきたい。

●7/13 イオンモール高崎で買い物支援の講話

群馬パース大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科の学生さんのゼミで、『イオンモール高崎の職員さまに向け高次脳機能障害の理解と買い物の際の支援の研修を行う』とう取り組みに参加させていただきました。(出席者：下田、加藤、岡村)

今年4月から同学科のゼミの皆さんがノーサイドの定例会に來られ、「買い物の際に不便なこと、困ることは?」といった質問回答して下さった皆さま、ご協力ありがとうございました。

7月13日に、イオンモール高崎での発表を迎えました。聴講された職員さんは15名ほど、約40分の間に、スライドを用いて高次脳機能障害の症状や、買い物の際の困りごとや配慮のお願いなどお伝えしました。聴講の皆さまはメモをとりながら熱心に聞いてくださり、イオングループさまが、日ごろより障がいへのご理解と地域社会へのご支援にお力添えくださっている姿勢を改めて実感しました。

ノーサイドでも毎年「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、イオンモール高崎さまにお世話になっています。このキャンペーンにおけるノーサイドへのご支援は、毎回クリスマス会での会員の皆さまへのプレゼント購入に活用させていただいております。

